

法音寺物語

(上)

ほうおんじものがたり

じょう

慈悲深く堪忍強く守りなば  
至誠の道もひとり渡れむ

杉山辰子



## 衆生無辺誓願度

困つてゐる人は誰でもいらつしやいぐと、広宣院殿安立大法尼（始祖・杉山辰子先生）はいつもおつしやいしました。そして、慈悲・至誠・堪忍の三徳を実行すれば誰でも宝の山・極楽に行くことができますよぐと多くの人を力づけ、喜びを与え、本當の幸せへの道を説き続けられました。大勢の人が仏教化救済会に押し寄せましたので、まるで困つた人のデパートみたいだつたぐと、往時を知る方にお聞きしたことがあります。

誰もが皆「不治の病人」とさげすみ、近寄ろうとさえしなかつた人をも快く招き入れ、わが子のように優しく肩を抱き、お題目を唱えましょう。三徳を実行しましょう。そうして病気を克服しましょうぐと励まされました。突然襲いかかった天変地変に当たっては、いち早く現地に駆けつけて食料・衣料を施され、正しい宗教を正しく信仰し、正しい道を歩みましょうぐと復興の力を授けられました。

こうした安立大法尼の六十五年のご生涯は正に、お釈

迦さまから末法の世に法華経を弘通する大任を付嘱された本化・安立行菩薩の實踐そのものと申せましょう。「我、閻浮提の太陽と成らむ。我、煩惱を能く断ず。我、妙法を以つて仏を成ぜむ」

昭和七年一月、安立大法尼は三大誓願を発信されました。今、末法の世に生きる私たちも安立大法尼の大誓願をわが心として、仏に成る道を歩み続けましょう。この私が、たいようぐとなるのです。家庭のたいよう、職場のたいよう。宇宙に輝く太陽は一つしかありませんが、私はたいようぐの人は何人いてもいいのです。自分の目の前にいる人を力づけ、喜びを与え、安立大法尼がなされたように日々行い続けるのです。

その実践は、まず一人から始まります。今日一日の行がスタートです。

一人が本當の喜びを得られると必ずもう一人に喜びが伝わります。喜びの輪はこうしてどんどん広がってゆくのです。目の前の人一人を喜ばせただけでその人は衆生無辺誓願度の実践者となり、安立行菩薩の眷属となれるのです。

〔法音寺広報委員会〕

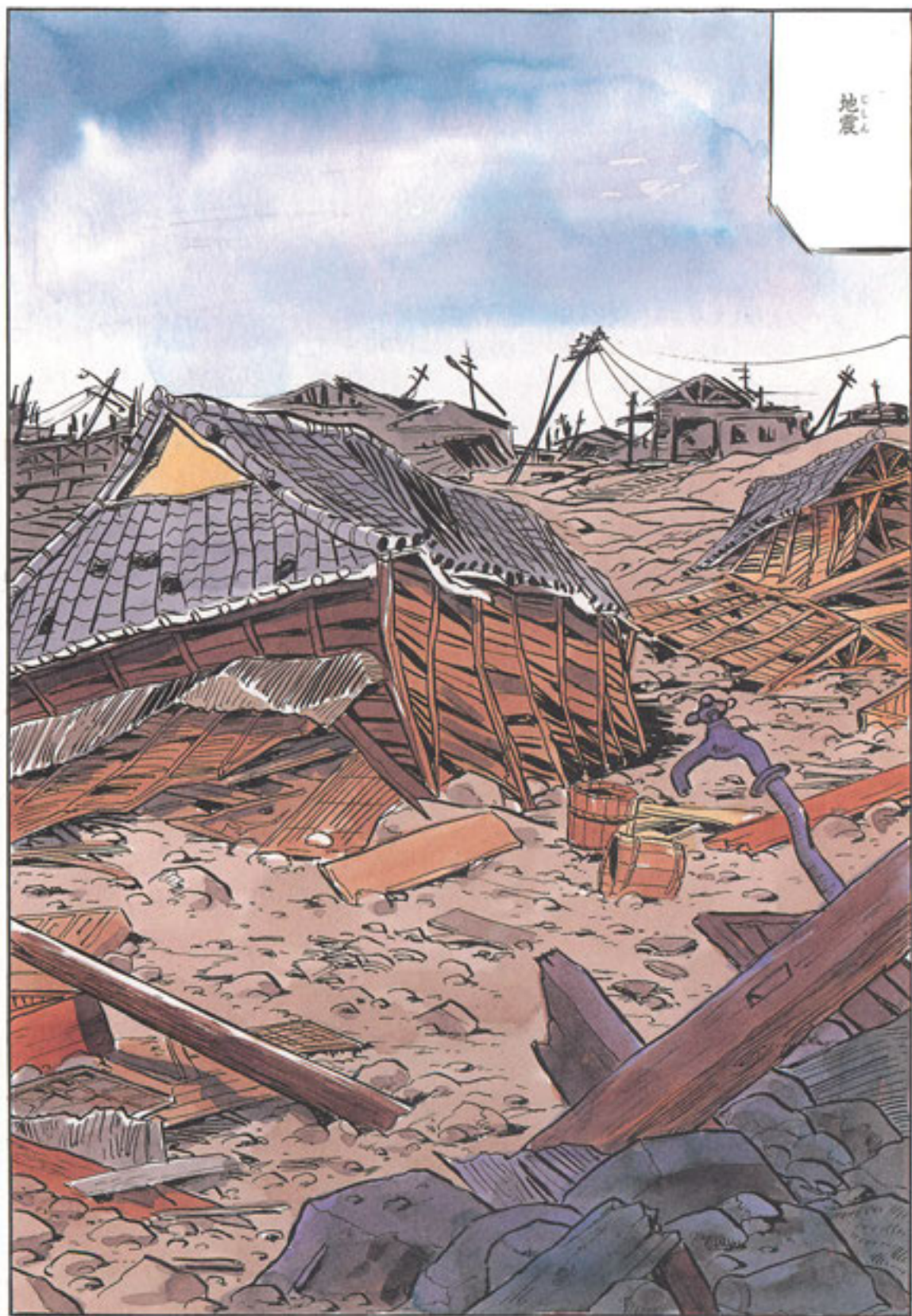
※「ライ病」という言葉は、過去様々な偏見を伴つて用いられ、多くの関係者の尊厳を傷つけてきたこと等を踏まえ、現在「ハンセン病」を用いておりますが、本書では大正から昭和初期にかけての史実でありますので、必要最小限の範囲で使用いたしました（54頁／61頁／82頁／85頁）。

ひとりから始まる  
今日一日から始まる

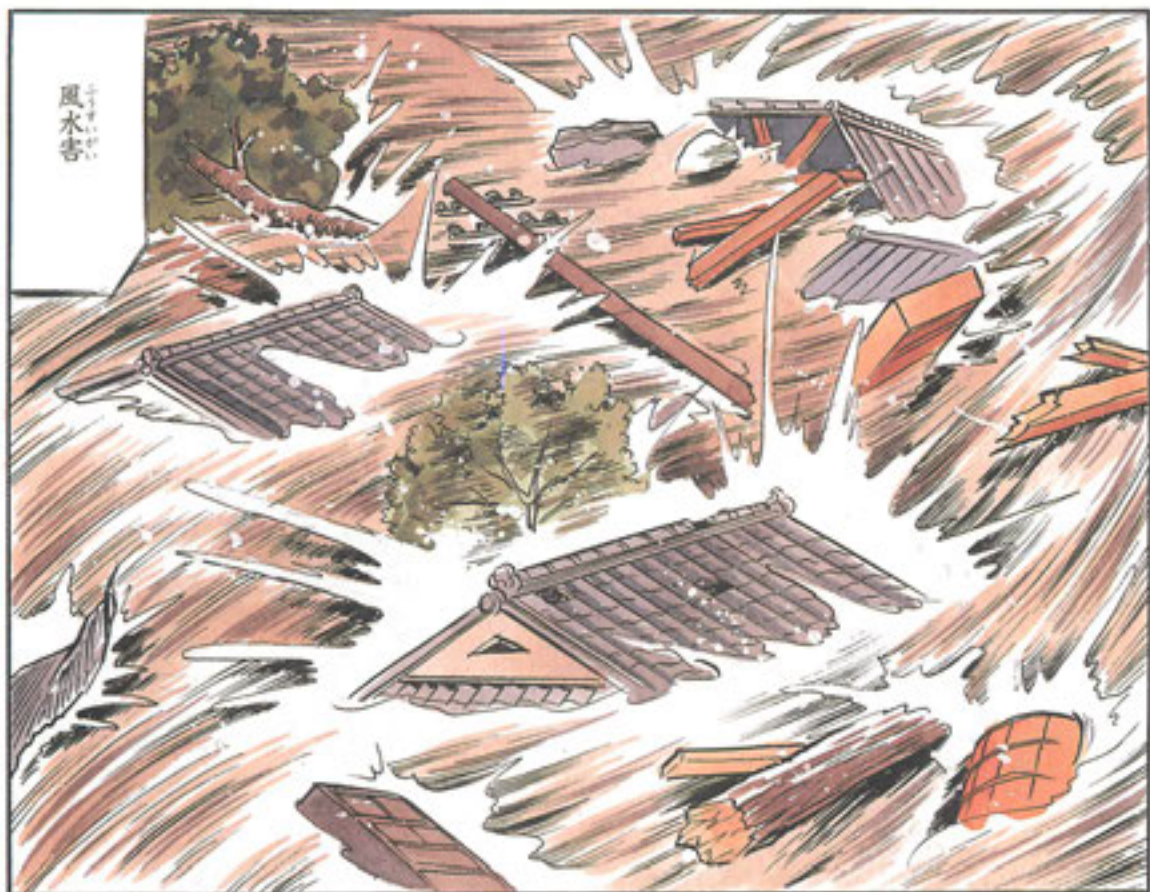
〔衆生無辺誓願度・意識〕



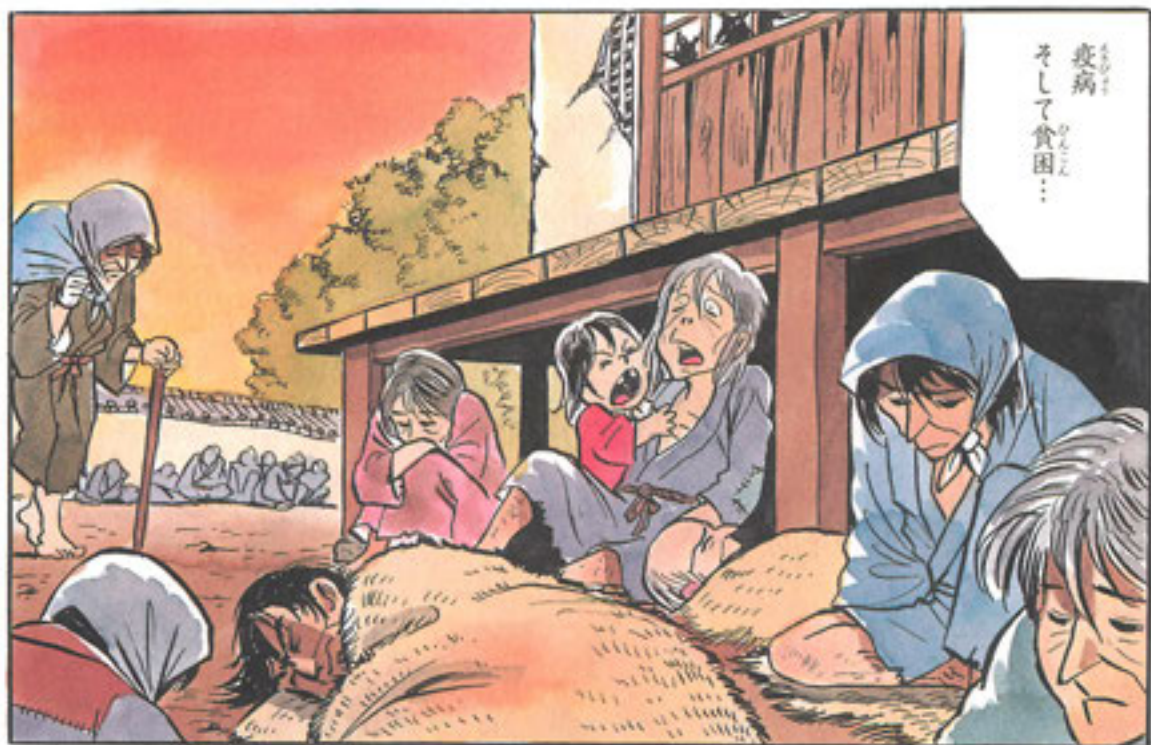
地震



風水害



疫病  
そして貧困…



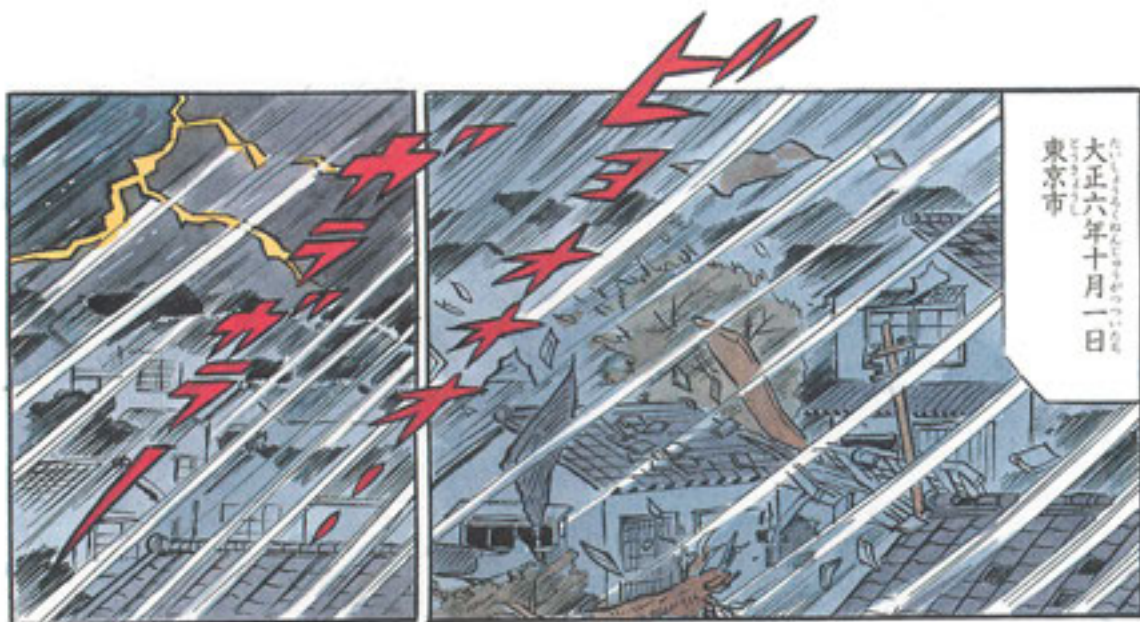
人々が正しい信仰を持たないために  
世の中が乱れ、天変地異が相次いで起こるのだ、と  
貧・病・争に苦しむ人々に  
法華経の菩薩道（慈悲・至誠・堪忍）の実行を説き  
人々を幸せに導くことに生涯を  
かけた人々の集団がありました



第一<sup>だい</sup>章<sup>いっしょう</sup>

出<sup>で</sup>会<sup>あい</sup>





大正六年十月一日  
東京市



会長！  
東海道線が  
やっと復旧  
しました



名古屋

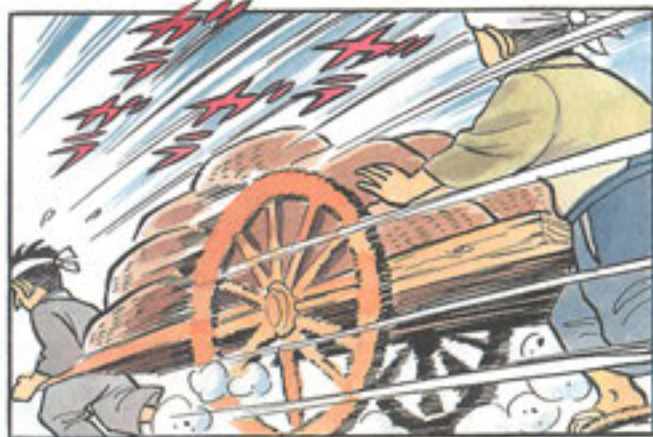
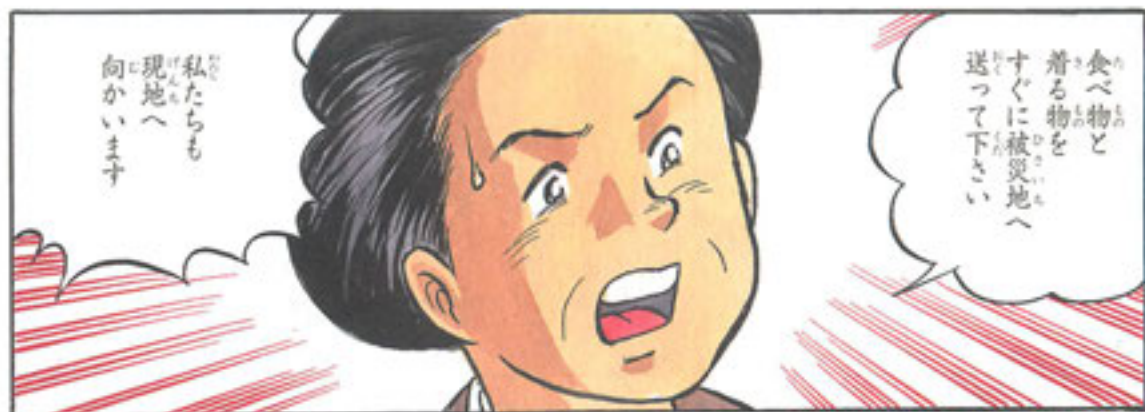


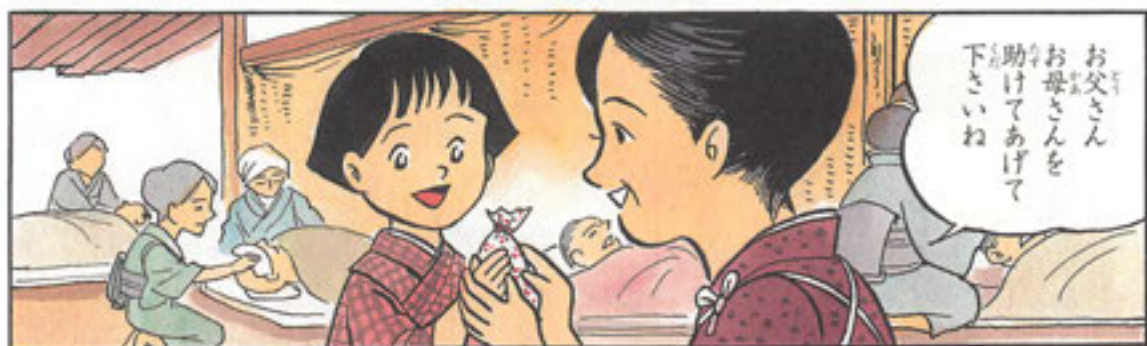
新開  
大正六年

# 暴風雨 東京市を直撃

電線切断全市暗黒  
死者、行方不明者三百人





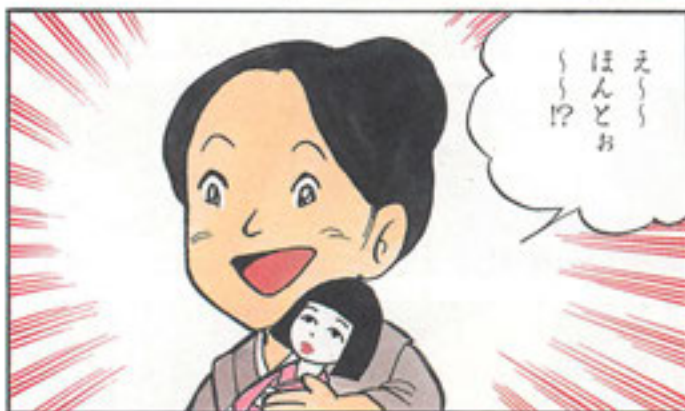


みなさん  
疲れたでしょう  
炊き出しの残り  
ですが、召し  
上がって下さい

被災者の方々に  
少しでも喜んで  
いただけたら  
疲れなんてふっとびます

そうですね 世の中には  
まだまだ貧しくて  
生活に困っている人や  
病気で苦しんでいる  
人が大勢います  
そんな人々をカづけて  
あげなければ……







杉山家は代々  
名主の家柄で  
菜種油や織布を  
手広く商う  
資産家であった



そして次女のたつ  
杉山辰子である



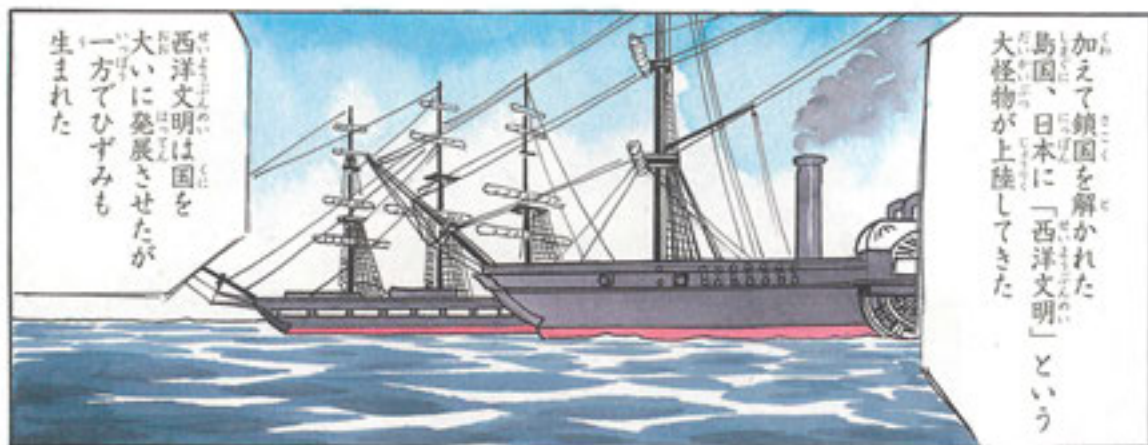
父、定七  
母、そのとの間に  
生まれた杉山家の  
長女である



封建制度の崩壊  
廃藩置県  
神仏分離令などの  
変革が様々な混乱を呼び  
日本中の人々は戸惑う  
ばかりであった



三百年の権勢を  
誇った徳川幕府は  
終わりを告げ、大政を奉還  
明治天皇が即位し、政治の  
主権を握った



加えて鎖国を解かれた島国、日本に「西洋文明」という大怪物が上陸してきた

西洋文明は国を大いに発展させたが一方でひずみも生まれた



杉山家も例外ではなく明治十年頃から変化が見えはじめた

西洋文明は灯火用の菜種油以外のエネルギーをそして機械化された工場で大量生産する織物技術を持ち込んだ  
西洋文明は杉山家の経済力を断ち切ってしまった



最近船の出入りもすっかり減ったなア

こんにちは  
やったら  
おれら  
ひあがってまうわ











あなたの家の  
お金はどうですか？  
正しく使われて  
きたでしょうか



ただし、正しい人に  
正しく使われる  
ならば、お金も  
長くとどまる  
ことができるでしょう



人間は何のために  
生まれてきたので  
しょう。食べて寝て  
やりたいことだけ  
やって暮らしている  
のなら動物と  
かわらない

人間として生まれた  
甲斐がないじゃ  
ありませんか



人間として生まれ  
たからには、世のため  
人のために働いて  
徳を積むことが  
大切なのです



徳を積むために  
遣われるお金なら  
価値あるお金と  
言えましょう

あなたのお家のお金が  
惜しい欲しいためた  
お金であれば  
遅かれ早かれ  
いずれは無くなって  
いくものです

そうか…  
結局私の家は  
財産を失う  
運命にあった  
のか…

すべて  
あきらめるしか  
ないのか…

たつきん！  
あなたが今から  
菩提心を起こして  
修行するなら  
財産も成仏し  
お家を立て  
なおすことも  
できると思い  
ますよ

修行？  
……

どんなことを  
すればいいの  
ですか

南無妙法蓮華経と  
お題目をお唱えする  
のです。一日に何度も  
何度もあなたの願いが  
天に届くまで  
心をこめてね

そして  
人を  
喜ばせること

あなたのまわりに  
いる人たちの喜ぶ  
ことをしておあげ  
なさい



それからたつは  
週に一、二度  
鈴木キセの  
もとに通った



キセのうしろで  
法華経を  
読むことも覚え



キセの目は  
キラキラ輝き  
喜びに満ち  
あふれていた

宿を借りる人の  
ふとんを運んだり  
するキセの  
手伝いもした



困っている人に  
食べ物分け  
与えたり



地元の有力者から  
いろいろな相談を  
受けていた



また、キセは  
物事を  
予見することも  
できたので



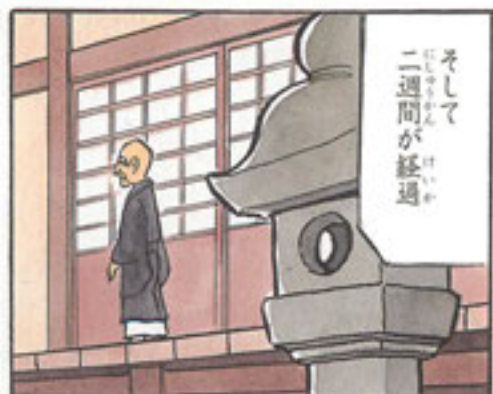


















しよぶつぜんじん  
諸仏善神が  
すかた  
お姿をおみせ  
くださった:

私の祈りは  
天に通じた

そして  
私の考えは  
間違ってた  
なかった:

